

救急救命学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	63	法医学

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング EM-1-PDR-04				
	●	●								
科目名	法医学				単位 認定者	舟山 眞人		評価 の方法	授業内課題等	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	救急救命学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	16 時間			
					授業形態	講義	授業回数		8 回	
授業の概要	心臓死と脳死、早期死体現象と晩期死体現象について理解し、救急救命士が現場で死亡と判断する基準や留意点について学ぶ。死亡診断書（死体検案書）の役割や死因の分類、異常死体と検案・解剖、死後画像診断についての知識を身につける。法医学の基礎的知識について、乳児突然死、小児虐待、頭蓋内血腫による死、ガス中毒死等の観点から学修し、救急医療におけるその重要性を理解する。									
到達目標	救急救命士として法医学に関連する知識が付き、実務現場で役立てることができる。									
学修者への期待等	講義前に準備学修に記した個所を読んでおくとう理解が深まる。									
回	授業計画					準備学修				
1	死の定義 脳死と臓器移植 救急現場の法医学 I（乳児突然死）					テキスト194頁 2-8-Aを読んでおく（約20分） テキスト655頁 5-12-C-5-4を読んでおく（約10分）				
2	異状死とは 死後の医学的手続き					テキスト268頁 表III-1-19を見ておく（約10分） テキスト194頁 2-8-C-1・2を読んでおく（約20分）				
3	死体現象(早期)					テキスト194頁 2-8-B-1～4を読んでおく（約30分）				
4	死体現象(晩期) 救急現場の法医学 II（小児虐待）					テキスト194頁 2-8-B-5を読んでおく（約30分） テキスト655～7頁 5-12-C-5-5を読んでおく（約30分）				
5	救急現場の法医学 III（法医学的視点からの頭部外傷）					テキスト717～8頁 6-5-D-1～4・7を読んでおく（約30分）				
6	救急現場の法医学 IV（知っておきたいガス中毒）					テキスト800～1頁 7-2-D-1・2を読んでおく（約30分）				
7	最新Ai(死後画像診断)学					テキスト194頁 2-8-C-3を読んでおく（約30分）				
8	救急現場の法医学 V（試験問題を活用した話題提供）					特になし				
教科書	『救急救命士標準テキスト』救急救命士標準テキスト編集委員会、へるす出版 適宜講義プリントを配布する									
参考文献	特になし									
備考	課題レポート課題については講義中に説明する スライドのスマホ撮影は禁止する									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

担当教員はこれまで数千件の法医学解剖を担当し、全ての鑑定書を作成してきた。